

2023年度 企業アンケート結果について

1. 対象企業数：

本学卒業生の就職実績のある企業 1,166社 （回答 251社）

2. 実施期間：

2024年3月27日（水）～4月10日（水）

3. 目的

本学のキャリア教育等へ反映させ教育改善へ役立てることを目的とする。

【問い合わせ先】

東京電機大学
学生支援センター（キャリア支援・就職担当）
IRセンター

Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。

Q2. 最近（目安4～5年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。

いない場合は、Q7にお進みください。

Q3. 最近（目安4～5年の間）貴社を退職した本学卒業生はいますか。

Q4. 最近（目安4～5年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との

比較において以下の能力等はどのように感じられますか。1～5の該当する番号を選択ください。

a.コミュニケーション能力 b.意欲・積極性 c.基礎的な知識・技術 d.応用力・想像力

e.日本語力・文章力 f.論理的思考 g.語学力 h.問題解決能力・実行力 i.ストレス耐性・粘り強さ

5：高い 4：やや高い 3：ふつう 2：やや低い 1：低い

Q5. Q4.に関連し、本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。

当てはまるものすべてにチェックください。

- ① コミュニケーション能力の育成 ② 課題解決型教育
③ 研究成果発表などプレゼン能力 ④ 専門ソフト等のスキルアップ
⑤ より実践的な実験・実習 ⑥ 一般常識・教養教育 ⑦ グループワーク
⑧ キャリア教育 ⑨ インターンシップ ⑩ 資格取得支援 ⑪ 英語教育
⑫ 日本語力・文章力 ⑬ メンタルトレーニング ⑭ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q6. 最近（目安4～5年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。

当てはまるものすべてにチェックしてください。

- ① まじめで手堅い ② 素直で指示によく従う ③ 協調性がある
④ リーダーシップがある ⑤ 勉強熱心で向上心が高い ⑥ 同窓のつながりが強い
⑦ 積極的で主体性がある ⑧ 競争意識が高い ⑨ メンタル的に強い ⑩ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q7. 最近（目安4～5年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。

- ① 大変満足 ② おおむね満足 ③ 満足ではない

Q8. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

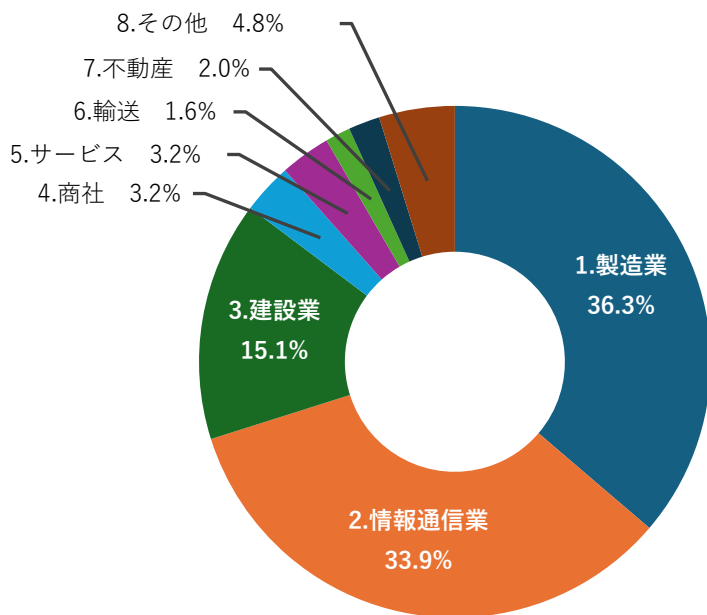
- ① アルバイトなどの社会人経験 ② 学生団体・部活・サークル活動
③ グループ・団体等でのリーダー体験 ④ ボランティア活動
⑤ イベント等の企画・運営 ⑥ 社会人との交流 ⑦ コンテスト・競技会等への参加
⑧ 趣味等のコミュニティーへの参加 ⑨ 留学等の海外体験 ⑩ その他

Q9. コロナ禍の影響により、大学がオンライン授業を導入していることについてご意見があればお聞かせください。

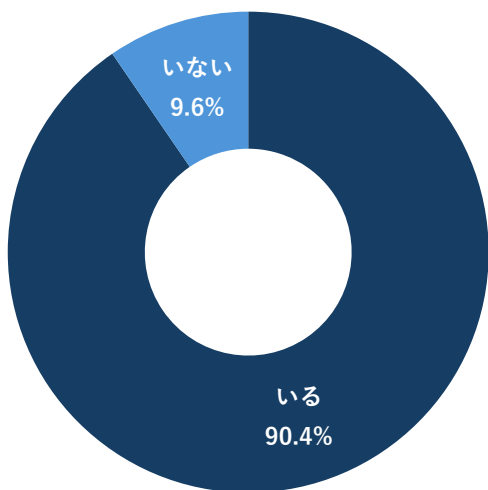
Q10. コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。

Q11. その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。

Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。

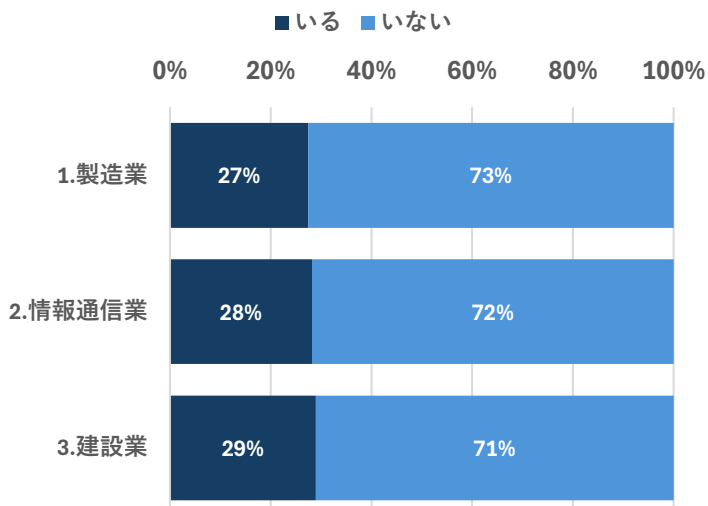
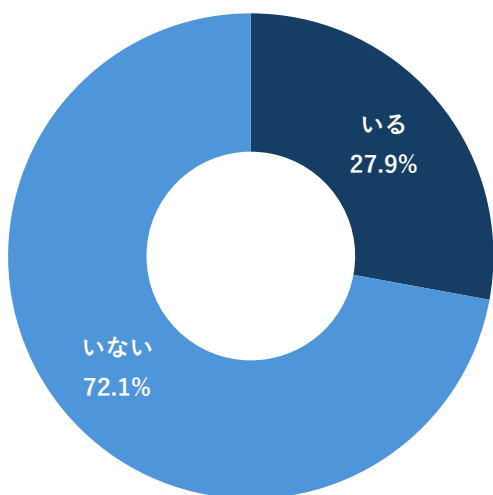


Q2. 最近（2019年～2023年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。

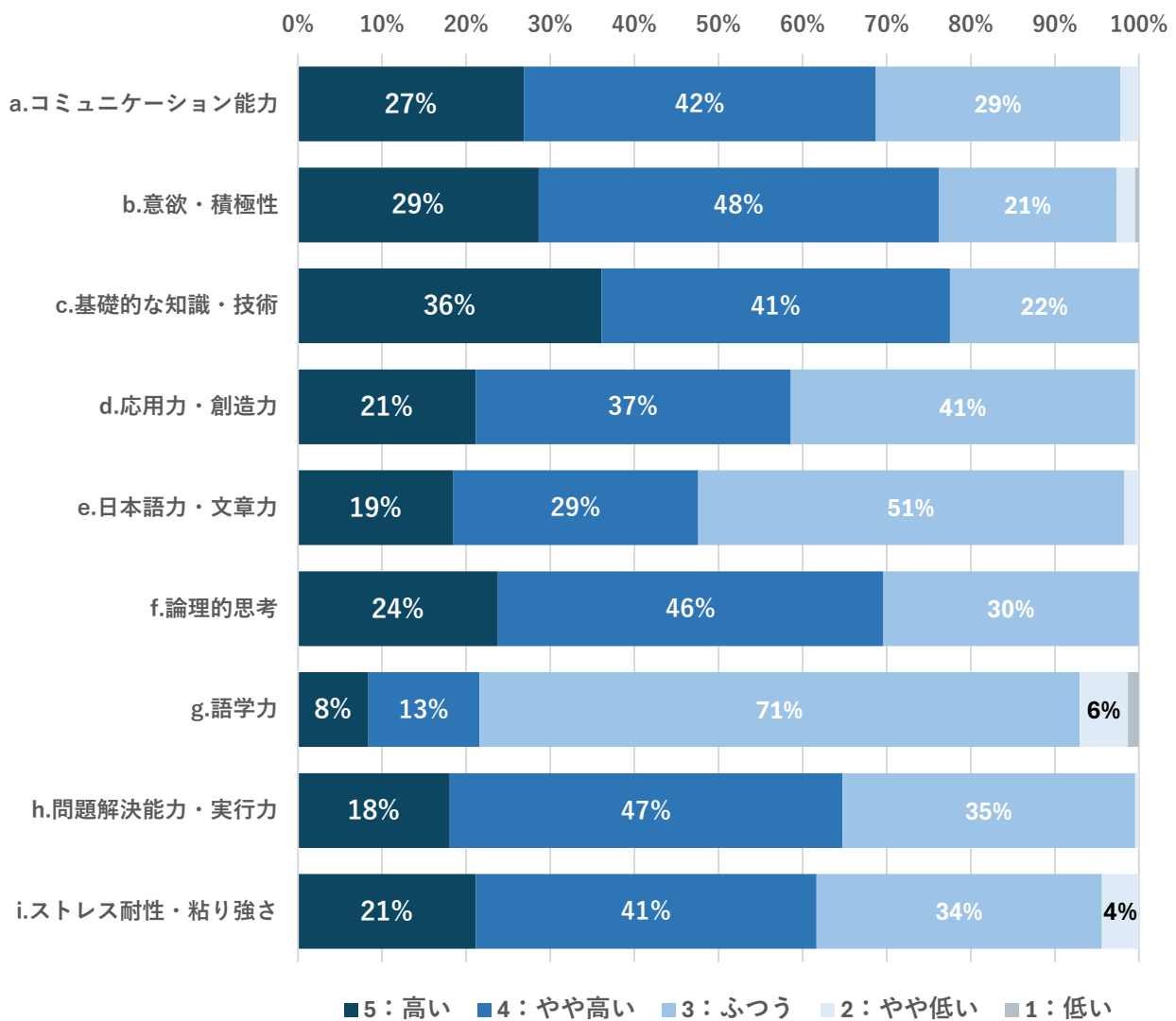


	いる	いない	総計
1.製造業	81	10	91
2.情報通信業	78	7	85
3.建設業	35	3	38
4.商社	8		8
5.サービス	6	2	8
6.輸送	4		4
7.不動産	5		5
8.その他	10	2	12
総計	227	24	251

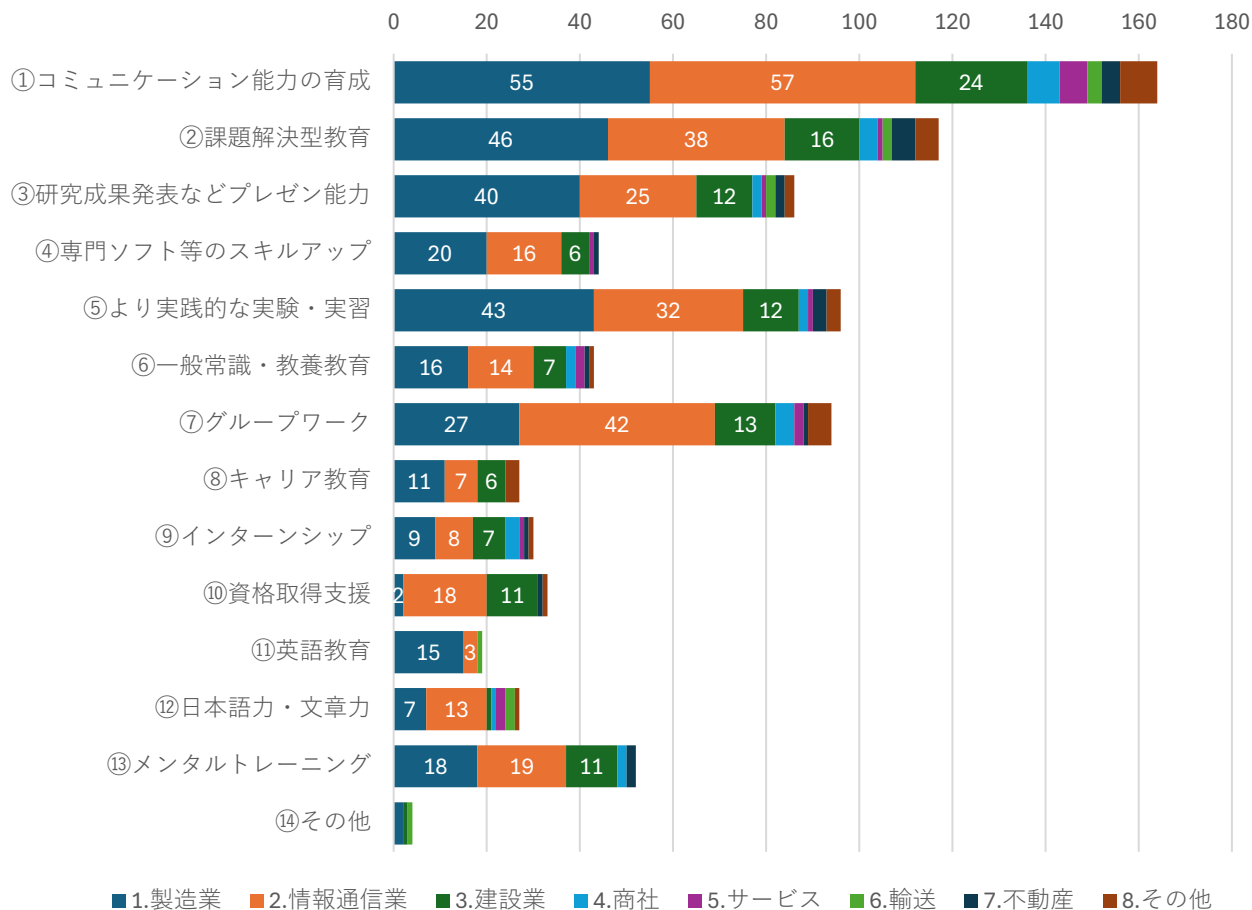
Q3. 最近（目安4～5年の間）貴社を退職した本学卒業生はいますか。



Q4. 最近（2019年～2023年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との比較において以下の能力等はどのように感じられますか。（有効回答：227社）。



Q5. Q4.に関連し、本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
 当てはまるものすべてにチェックください。(複数回答)

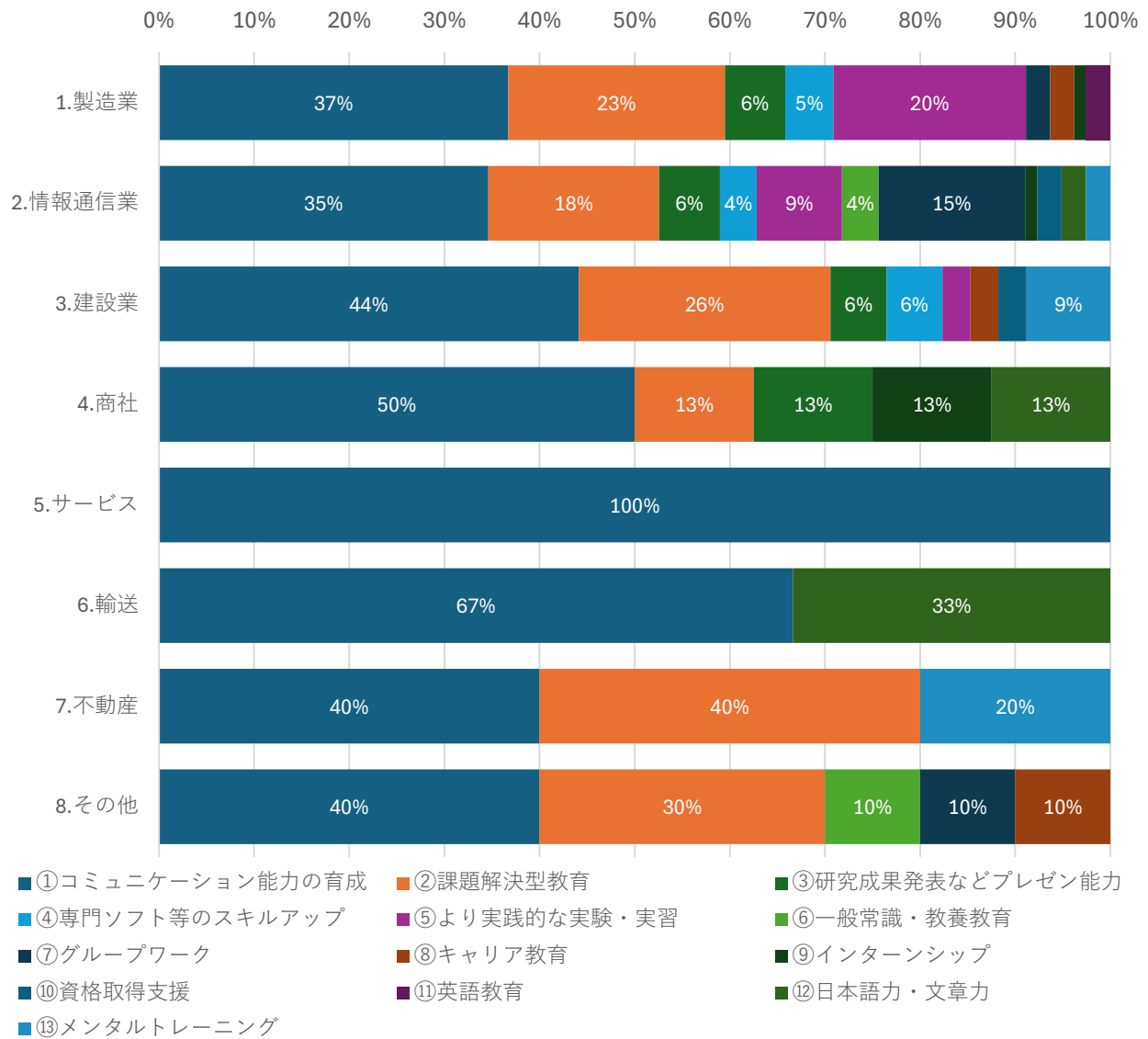


主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

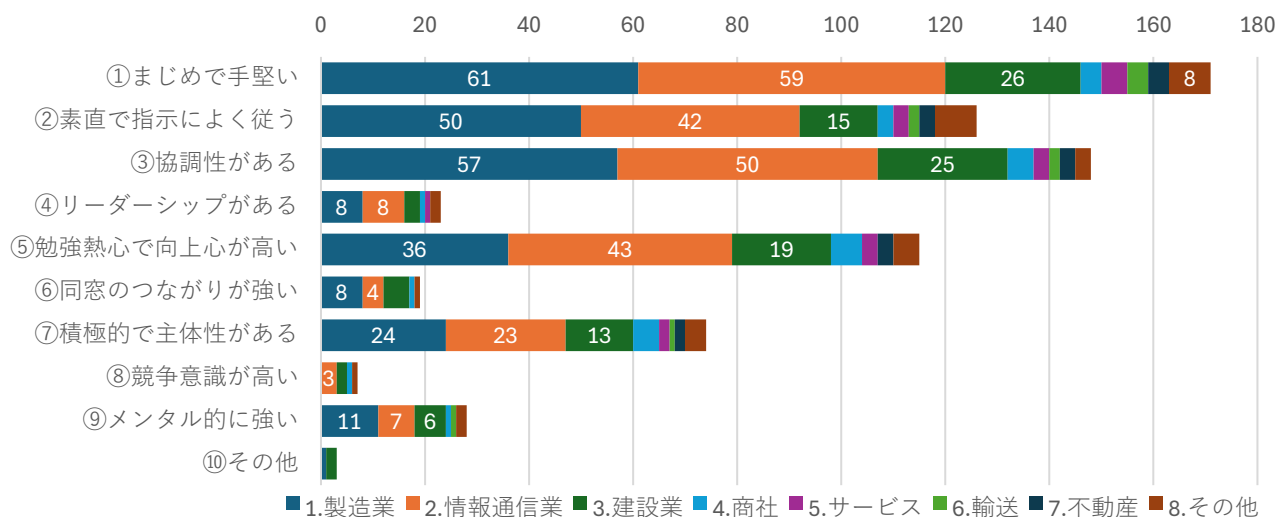
	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	81社	78社	35社
① コミュニケーション能力の育成	68%	73%	69%
② 課題解決型教育	57%	49%	46%
③ 研究成果発表などプレゼン能力	49%	32%	34%
④ 専門ソフト等のスキルアップ	25%	21%	17%
⑤ より実践的な実験・実習	53%	41%	34%
⑥ 一般常識・教養教育	20%	18%	20%
⑦ グループワーク	33%	54%	37%
⑧ キャリア教育	14%	9%	17%
⑨ インターンシップ	11%	10%	20%
⑩ 資格取得支援	2%	23%	31%
⑪ 英語教育	19%	4%	0%
⑫日本語力・文章力	9%	17%	3%
⑫ メンタルトレーニング	22%	24%	31%
⑬ その他	2%	0%	3%

コミュニケーション能力の育成は約7割が回答。「より実践的な実験・実習」は他業種に比べ製造業、情報通信業では「グループワーク」、建設業では「メンタルトレーニング」「資格取得支援」について多く回答されている。

※ Q5 でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものを選択してください。



Q6. 最近（2019年～2023年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。（複数回答可）

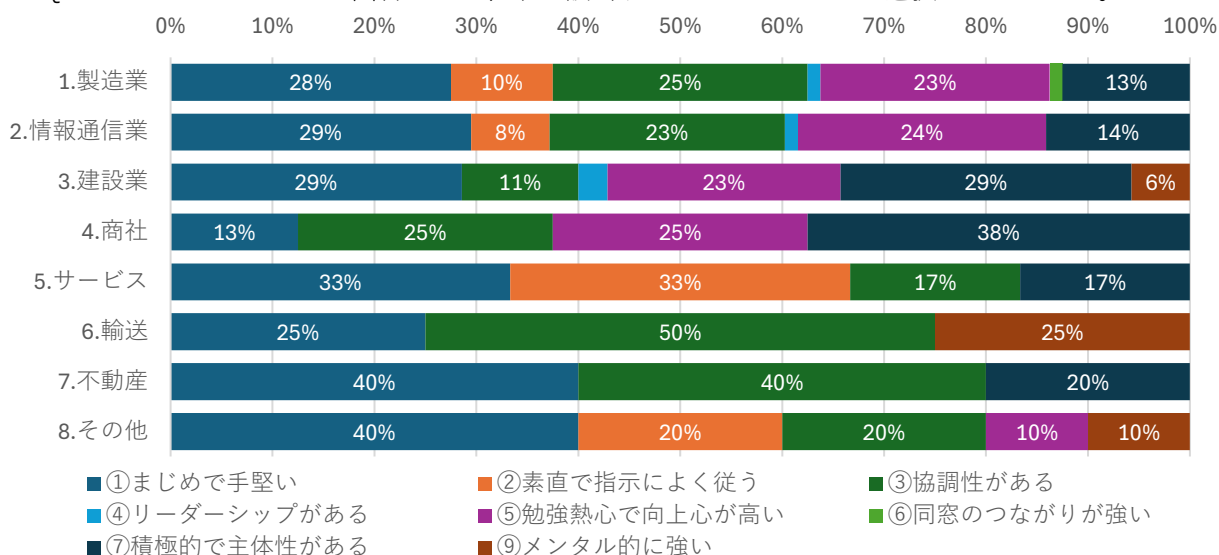


主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

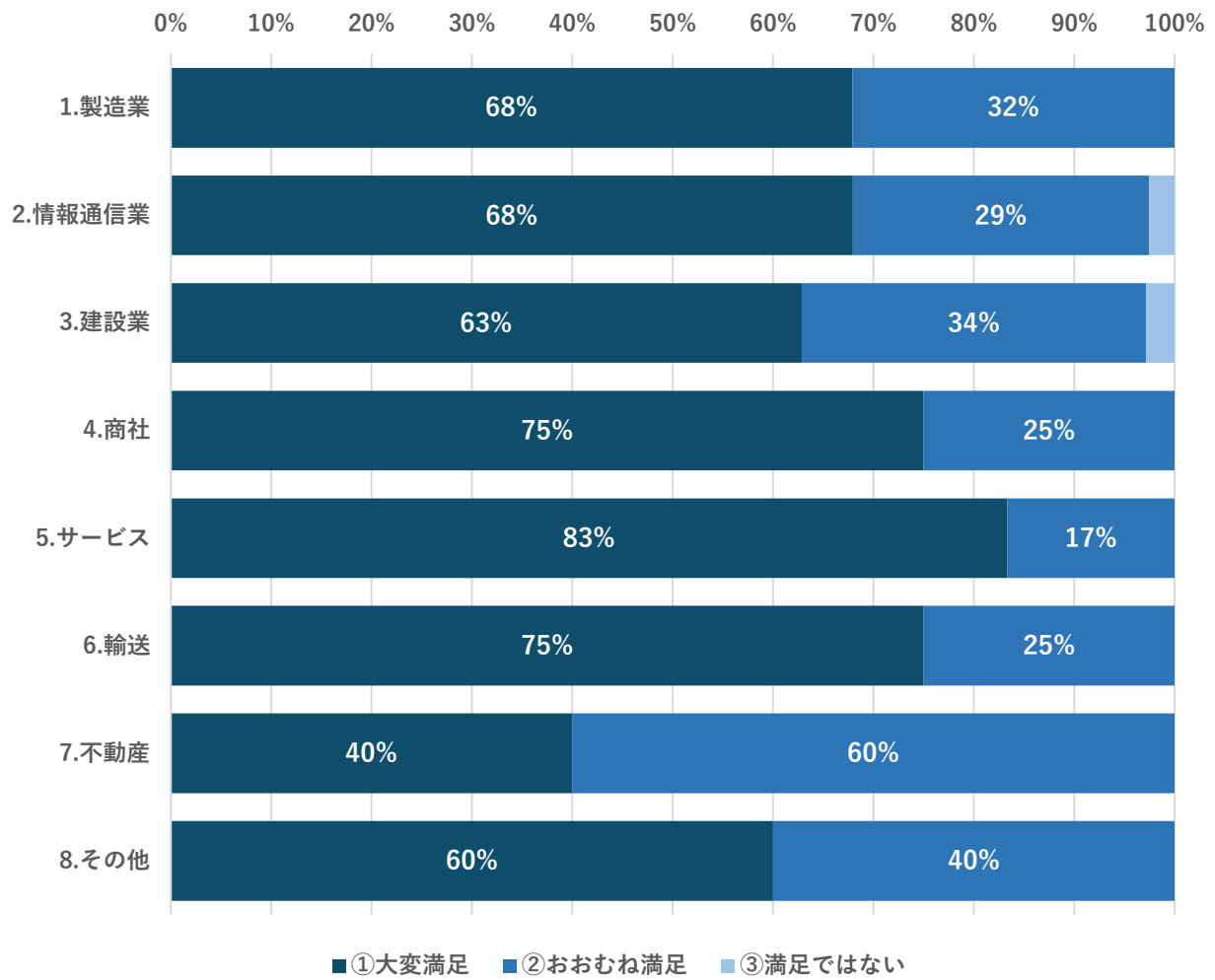
	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	81社	78社	35社
①まじめで手堅い	75%	76%	74%
②素直で指示によく従う	62%	54%	43%
③協調性がある	70%	64%	71%
④リーダーシップがある	10%	10%	9%
⑤勉強熱心で向上心が高い	44%	55%	54%
⑤同窓のつながりが強い	10%	5%	14%
⑥積極的で主体性がある	30%	29%	37%
⑦競争意識が高い	0%	4%	6%
⑨メンタル的に強い	14%	9%	17%
⑩その他	1%	0%	6%

「まじめで手堅い」「素直で指示によく従う」「協調性がある」は主な業種すべてから多く回答が得られた。「勉強熱心で向上心が高い」は情報通信業、建設業から多く回答が得られている。

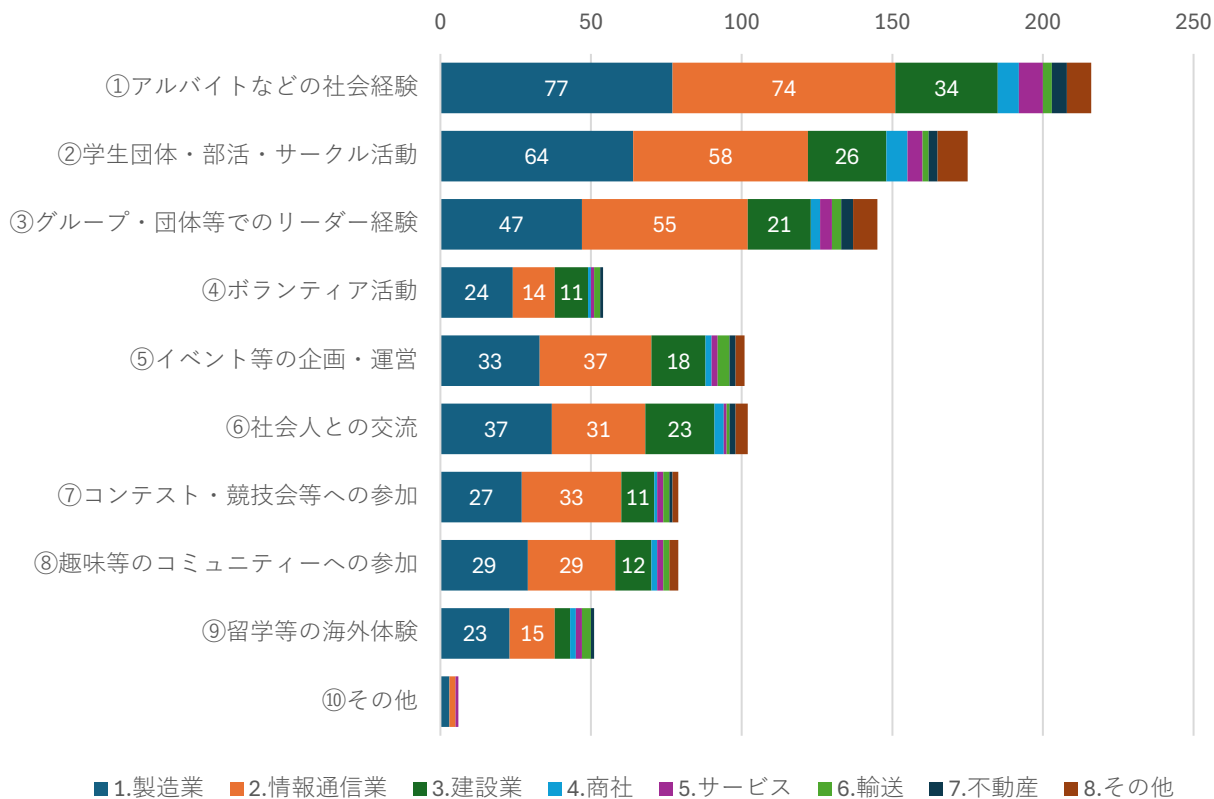
※ Q6でチェックいただいた回答のうち、最も該当すると思われるものを選択してください。



Q7. 最近（2019年～2023年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。



Q8. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。(複数回答)



主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	81社	78社	35社
① アルバイトなどの社会経験	95%	95%	97%
② 学生団体・部活・サークル活動	79%	74%	74%
③ グループ・団体等でのリーダー経験	58%	71%	60%
④ ボランティア活動	30%	18%	31%
⑤ イベント等の企画・運営	41%	47%	51%
⑥ 社会人との交流	46%	40%	66%
⑦ コンテスト・競技会等への参加	33%	42%	31%
⑧ 趣味等のコミュニティーへの参加	36%	37%	34%
⑨ 留学等の海外体験	28%	19%	14%
⑩ その他	4%	3%	0%

「アルバイトなどの社会経験」「学生団体・部活・サークル活動」「グループ・団体等でのリーダー経験」「社会人との交流は」上記業種の多くから回答が得られた。「ボランティア活動」は、製造業から多く回答が得られた。

Q9.の回答について生成系 AI (Copilot) を活用した分析

1. 全体的な傾向:

オンライン授業の導入には賛否両論があります。

対面授業の重要性を指摘する声があり、特に「対面、ライブに勝るものは無い」という意見が目立ちます。一方で、IT に慣れる機会としてオンライン授業の利点を挙げる意見もあります。

2. 業種分類別の意見:

製造業:

オンライン授業の導入により、対面での経験が少なくなることへの懸念がありますが、オンラインでの交渉スキルが重要になっているとの意見もあります。

情報通信業:

テレワークが一般的になったことで、学生時代からのオンライン授業を通じての対応力を身に付けることは良いとされていますが、コミュニケーションの取り方を間違えるとメンタル面への影響が懸念されています。

サービス業:

オンラインと対面授業を並行して行うことには問題がないとされていますが、オンラインのみでは顔を覚えられないため、対面授業の重要性が強調されています。

輸送業:

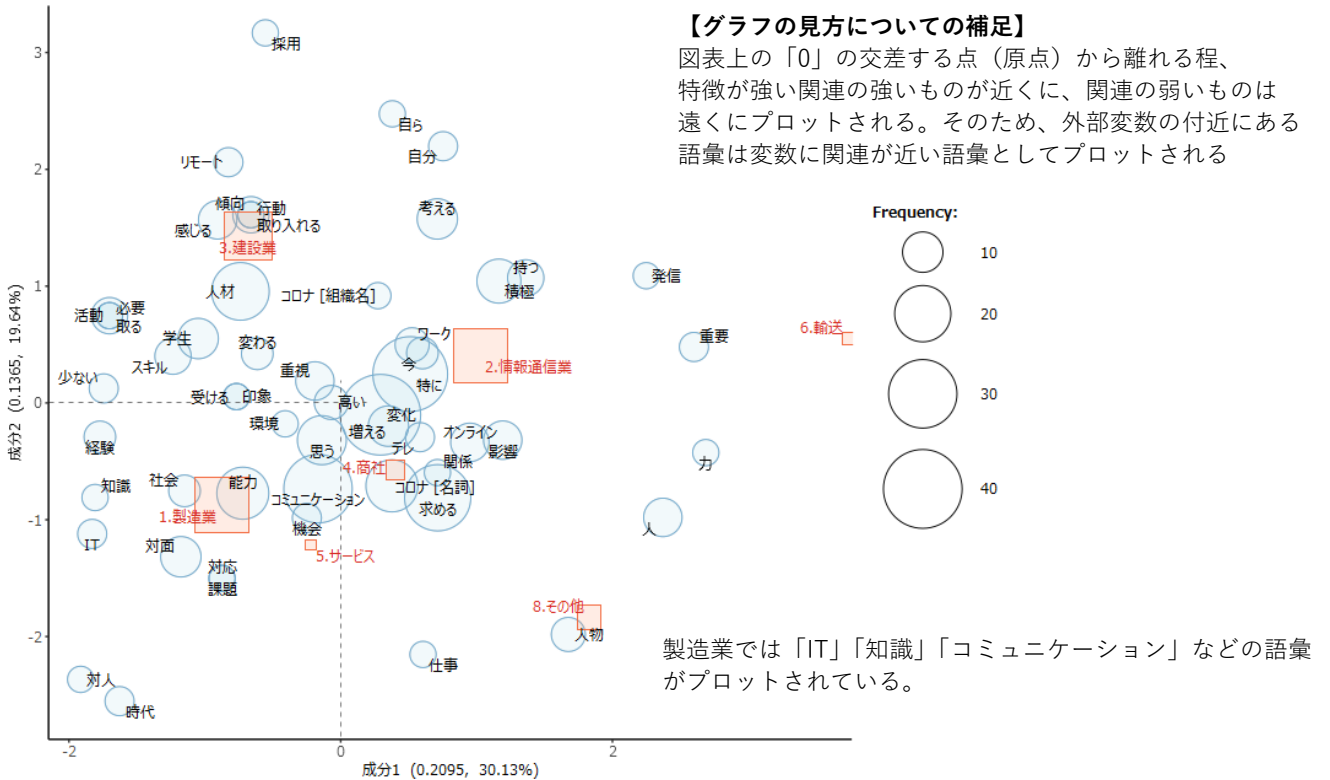
オンライン授業による効率化を評価する意見と、大学でのリアルな体験も重要だとする意見があります。

不動産業: オンライン授業の導入により、相手からどのように見られているかという意識が希薄になったとの指摘があります。

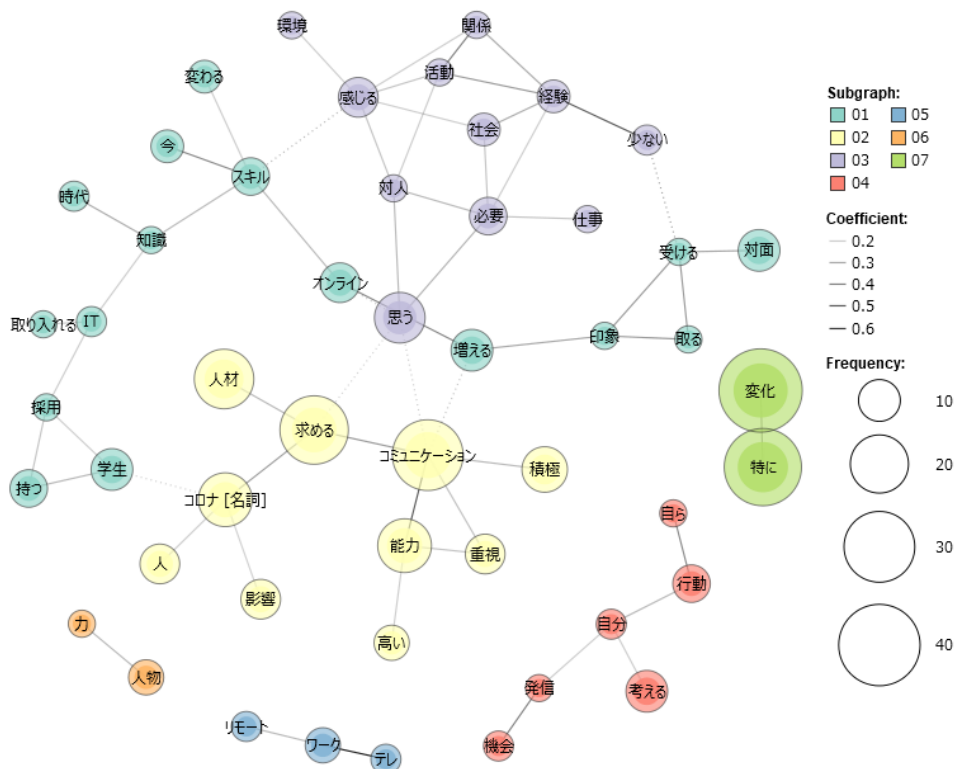
これらの意見は、オンライン授業の導入が学生や社会に与える影響について多様な視点を提供しています。対面授業の重要性を保ちつつ、オンライン授業の利点を活かすバランスが求められているようです。また、業種によってはオンライン授業に対する期待と懸念が異なることがわかります。これらのフィードバックは、今後の教育方針を考える上で貴重な参考になるでしょう。

Q10. 「コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。(自由記述)」 についての KH Coder によるテキストマイニング

(1) 対応分析…変数（業種）と抽出語の関係性を可視化して、特徴的な抽出語を座標上に配置する。



(2) 共起ネットワーク …単語が共通に出現する関係を円と線で表示した図。



Q10.の回答について生成系 AI (Copilot) を活用した分析

1. 全体的な傾向:

多くの業種で、コミュニケーション能力の重要性が高まっていることが指摘されています。

自発的かつ能動的に行動できる人材への需要が増えているようです。

テレワークやリモートワークが普及したことにより、オンラインでのコミュニケーションスキルを持つ人材が評価されています。一部の回答では、対面でのコミュニケーションの機会が減少したことによる影響に懸念が示されています。

2. 業種分類別の意見:

製造業:

コロナ禍により、社会経験が少ない学生に対する懸念があり、対人スキルやストレス耐性に対する意識が強くなっているとの声があります。

ITスキルや課題解決能力を持つ人材への需要が高まっているとの意見も見られます。

対面での交渉スキルがオンラインに加えて求められるようになってきているという意見もあります。

情報通信業:

テレワークの普及に伴い、報告・連絡・相談ができる人材が求められています。

積極的な関係性作りやチャレンジ精神を持つ人材への評価が上がっているとの指摘があります。

文章力や情報発信力が重視されるようになってきているとの意見もあります。

建設業:

チームワーク、コミュニケーション能力、責任感を持つ人材が引き続き求められています。

コロナ禍による学生の活動制限を考慮し、協調性や主体性を重視した研修を取り入れる動きがあるとのことです。

商社:

コロナ禍でも変わらない対面での商談スキルを持つ人材が求められています。

デジタルツールの扱いに長け、オンラインでもコミュニケーション能力を発揮できる人材への需要が増えているとの意見があります。

サービス業:

コロナ禍とは無関係に、時代の変化に応じて求める人材も変化しているとの意見があります。

輸送業:

チャレンジ精神を持ち、アイデアを創出できる人材を求めているとのことです。

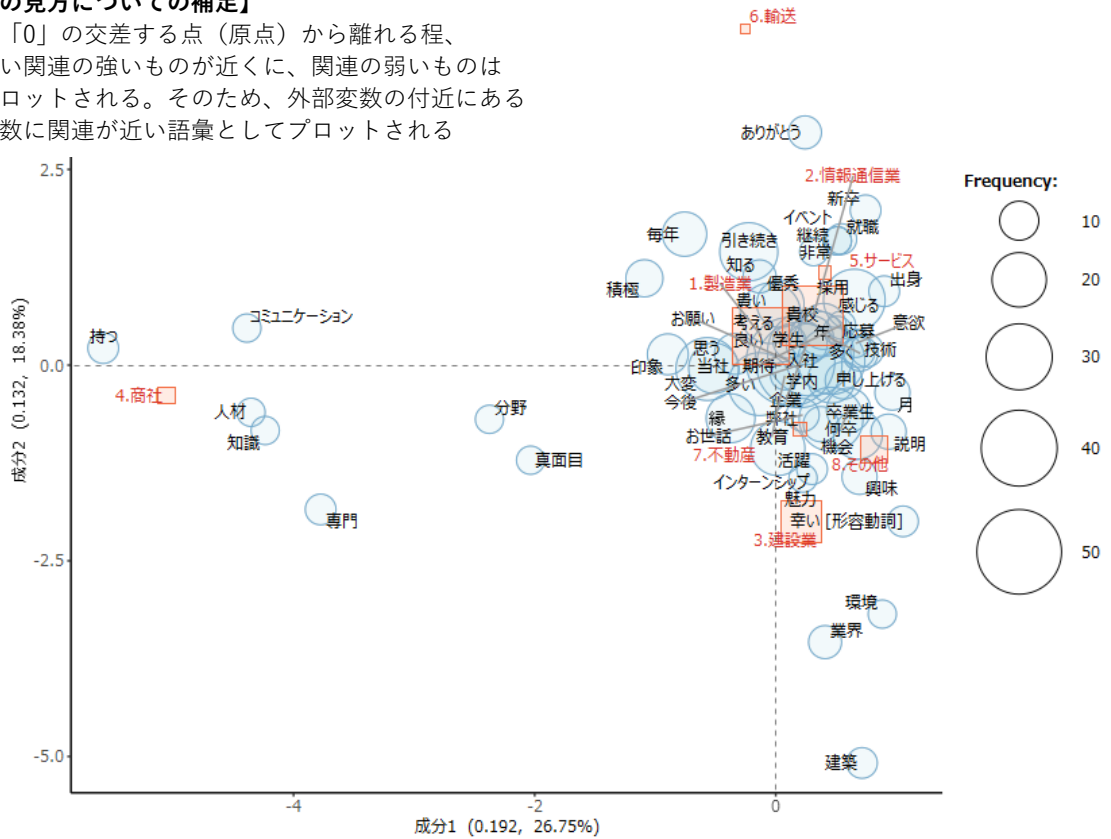
これらの傾向は、コロナ禍が企業が求める人材像に与えた影響を反映しており、特にコミュニケーション能力や自発性、ITスキルの重要性が増していることがわかります。各業種においても、これらのスキルを持つ人材への需要が高まっているようです。今後の採用活動や人材育成において、これらの点を考慮することが重要となるでしょう。

**Q11. 「その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。(自由記述)」
 についての KH Coder によるテキストマイニング**

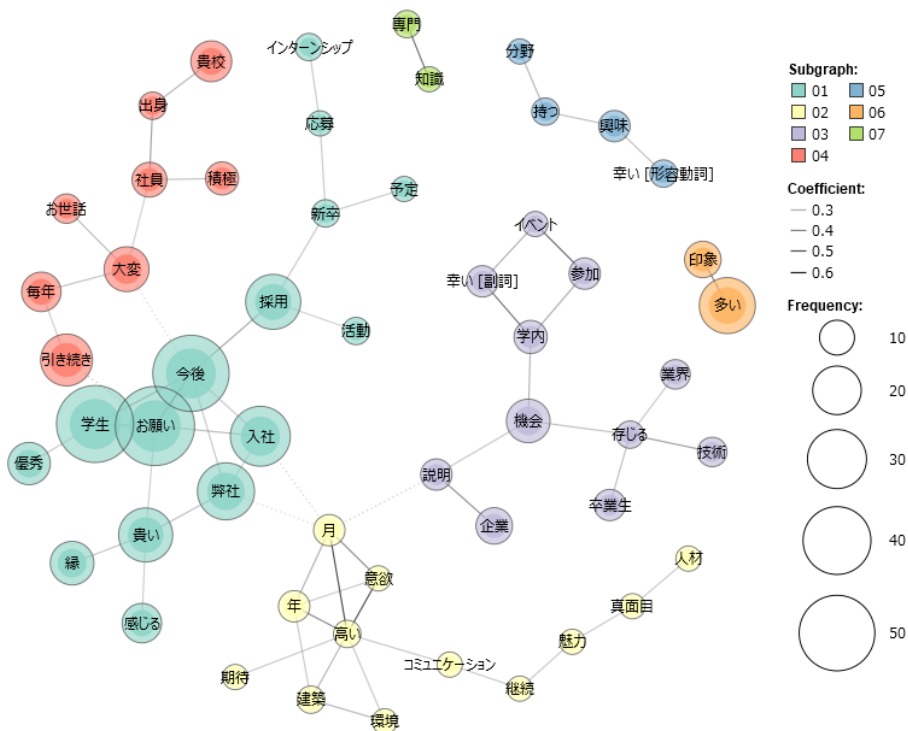
(1) 対応分析…変数（業種）と抽出語の関係性を可視化して、特徴的な抽出語を座標上に配置する。

【グラフの見方についての補足】

図表上の「0」の交差する点（原点）から離れる程、特徴が強い関連の強いものが近くに、関連の弱いものは遠くにプロットされる。そのため、外部変数の付近にある語彙は変数に関連が近い語彙としてプロットされる



(2) 共起ネットワーク …単語が共通に出現する関係を円と線で表示した図。



Q11. の回答について生成系 AI (Copilot) を活用した分析

1. 全体的な傾向:

回答者は、本学の「実学尊重」の建学の精神や、「技術は人なり」に基づく優秀な学生の育成を期待していると述べています。企業と学生との良い関係を築き、卒業生が社会に出て活躍することを楽しみにしているという意見があります。学生のインターンシップや就職活動に対する支援を求める声もあります。

2. 業種分類別の意見:

製造業:

製造業からは、本学の学生が将来の人材として期待されているとの意見があります。

また、2024年4月入社の新入社員に対する期待感を表明し、今後の活躍を楽しみにしているとのコメントがあります。

学生の実践的な経験を重視し、その育成を期待する声が多く聞かれます。

情報通信業:

情報通信業からは、過去数年間にわたり本学の卒業生を採用しており、その継続を望む意見があります。

学生の知識や技術、指示への理解の速さを評価する声があり、今後の成長に期待している様子が伺えます。

ただし、他社への魅力により学生が流出することへの懸念も表明されています。

これらの意見は、本学と企業との連携の重要性や、学生の実践的なスキルと成長への期待を示しています。また、インターンシップや就職活動に対する支援の要望があることから、学生のキャリア形成に対する関心の高さがうかがえます。これらのフィードバックは、本学の教育方針や産学連携の取り組みを考える上で貴重な参考になるでしょう。

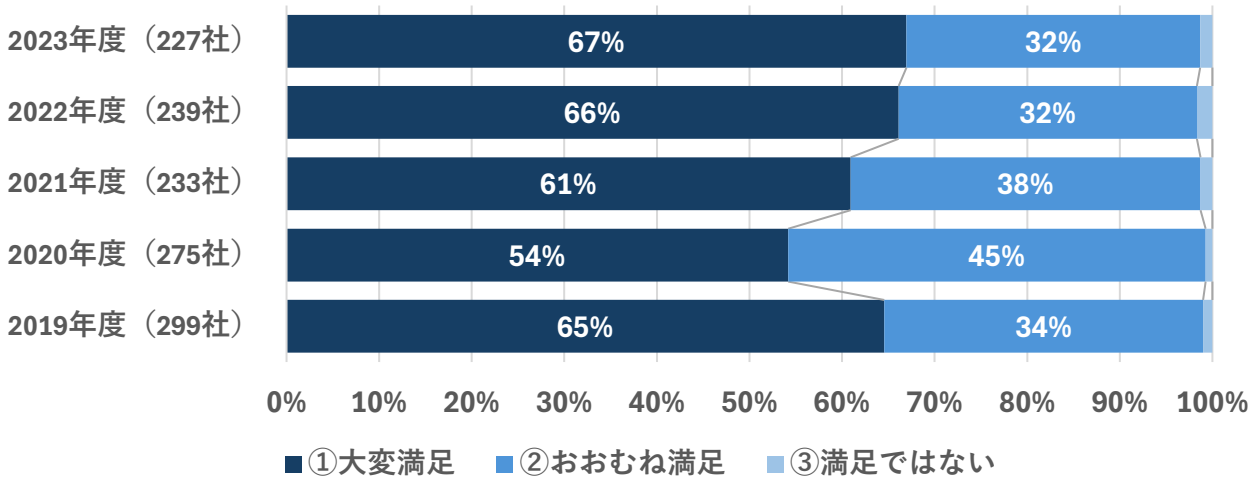
経年比較

1. 採用した学生への満足度及びコミュニケーション能力の評価の経年比較（ ）内は有効回答社数

(1) 満足度の推移

満足度はコロナ禍を機に低下していたが、全体的には復調傾向にある。

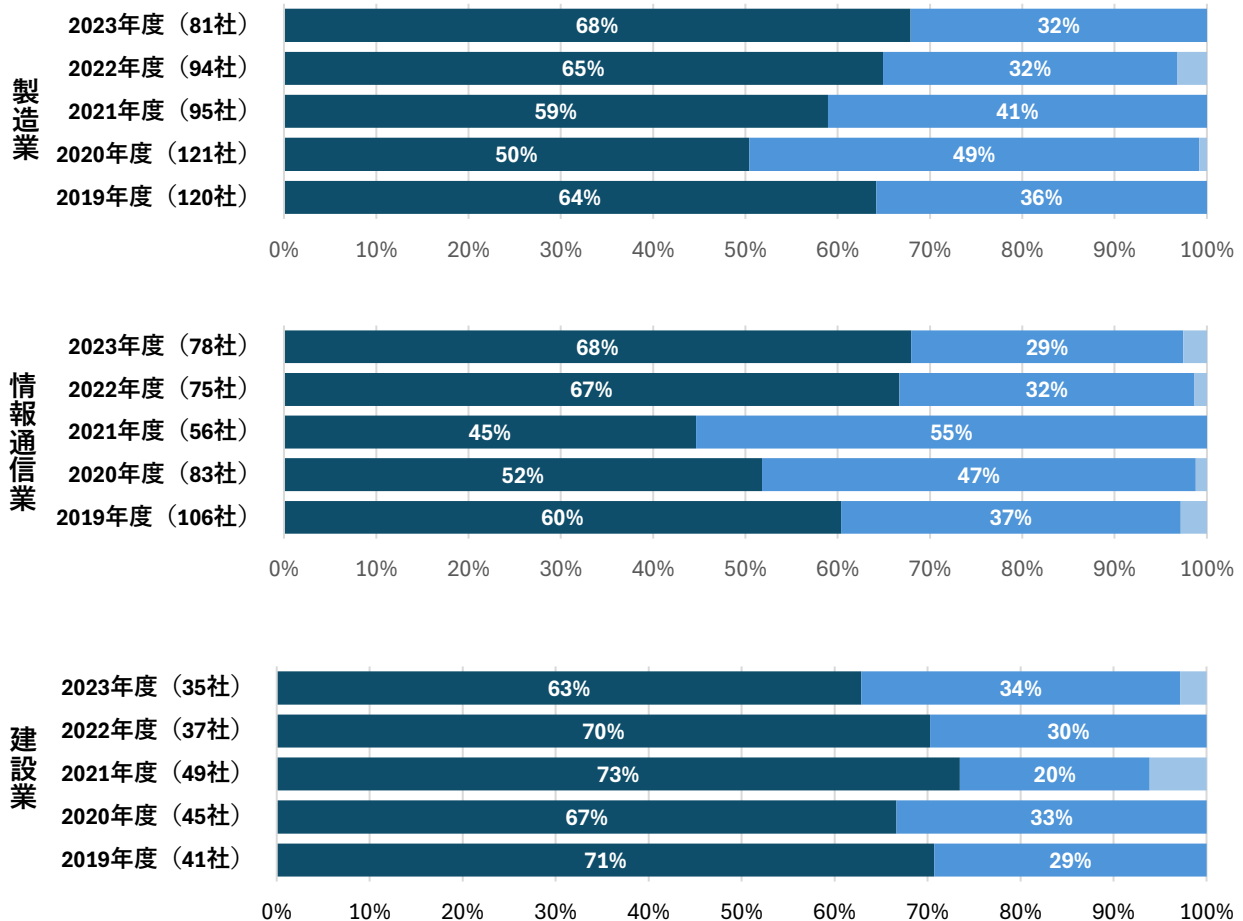
企業側の採用活動や環境自体の変化影響もあるがコロナ前の数値まで戻している。



(2) 主な業界（製造業・情報通信業・建設業）の満足度の推移

製造業・情報通信業は満足度が低下したが2022年度からコロナ前まで改善。

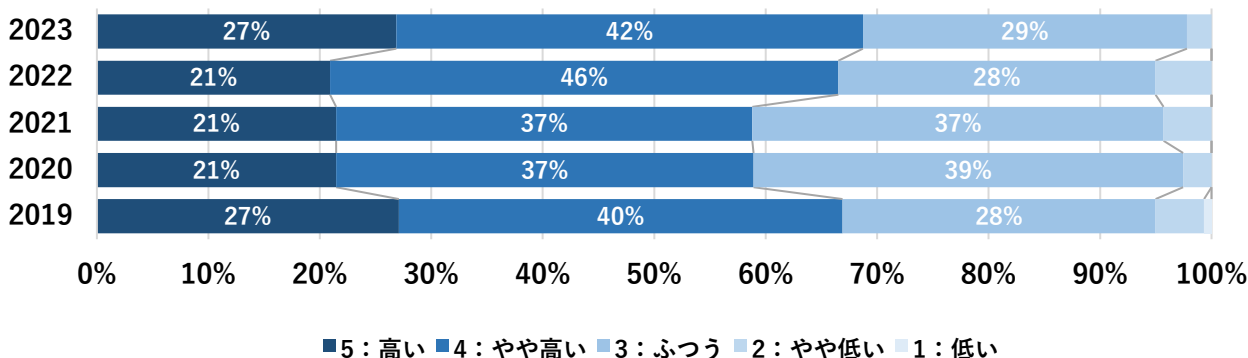
建設業はコロナ前後での満足度の影響は見られなかった。



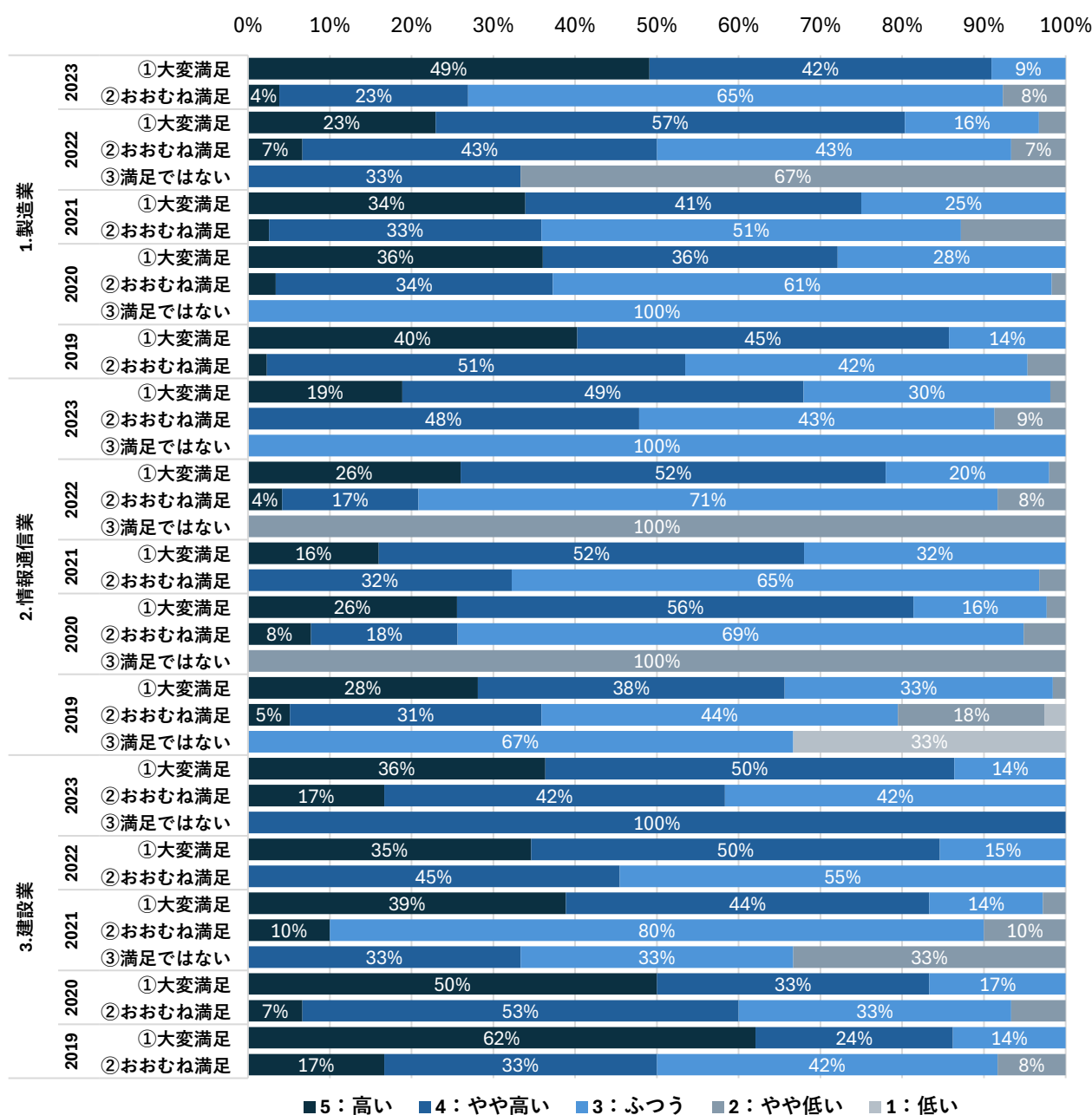
2.採用した学生の能力評価の推移

Q5での最も重要だと思う項目及び、Q9～10における自由記述で頻出したコミュニケーション能力について経年推移と他の変数との集計、コミュニケーション能力への評価と満足度の間には相関の傾向がみられた。

(1) Q4の入社した卒業生への能力評価「コミュニケーション能力」(全体)



(2) 採用した学生の満足度とコミュニケーション能力の相関 (主な業種を抜粋)



総括

この報告は、IRセンターのデータ集計により作成し、教育の質の保証への参考とすることを目的としている。2023年度は、過去3年間に学生が内定した企業を中心とした1,166社を対象にアンケートを実施した。

卒業生への満足度は、「大変満足」と「おおむね満足」を合わせると全体で99%と2023年度においても高い数値であった。また、「コミュニケーション能力」への評価は「高い」と「やや高い」を合わせると69%で昨年度よりも2ポイント上昇した。

「コミュニケーション能力の育成」は、「充実すると良いと思われる教育」として毎年1位に挙げられている。続いて「課題解決型教育」や「研究成果発表などのプレゼン能力」も毎年、どの業界からも重視されている。学びの中で人と関わる経験が重要なことから、グループワークやPBLなどの課題解決型授業の推進や学会発表会での経験などの一層の拡充が必要である。

その他、「より充実すると良いと思われる教育」について、産業別に比較すると製造業では「より実践的な実験・実習」の充実、情報通信業では「グループワーク」の充実、建設業では「グループワーク」や「より実践的な実験・実習」に加えて、「資格取得支援」や「メンタルトレーニング」も比較的高い数値になった。業界によって求められる能力に違いが表れている。今後のキャリア支援においては、引き続き資格取得の支援やキャリアデザインプログラムでのコミュニケーション講座および、メンタルスキル向上のグループワークなどを開催していく。

また、アンケートから電大生の課題として、昨年度に続き「日本語力・文章力」や「語学力」があげられる。これらは日ごろから努力を重ねる必要がある。低学年から、本学の教育の柱である実験・実習等でのレポート作成指導のさらなる強化が重要だと考える。

電大生の強みである、真面目、素直、協調性など社会人として、またチームで働く技術者に必要な教育は今後も活かしつつ、更に強みが増えるような教育が期待されている。

以上